

安城市ゼロカーボンシティ推進戦略策定に伴う第 2 次安城市環境基本計画の 変更箇所一覧

本編 P 4 「第 1 章 3. 計画の位置づけ」

3. 計画の位置づけ

第 2 次安城市環境基本計画の位置づけは、以下に示すとおりです。



なお、「第 3 章 1【2】 自然・都市共生」は、生物多様性基本法※第 13 条の生物多様性地域戦略に該当します。

本編 P 4 5 「第 3 章 1 【4】 地球温暖化対策（2）指標」

(2) 指標

国の地球温暖化対策計画で定められた中期目標をもとに、安城市での温室効果ガス※排出量を令和 12 年度（2030 年度）に、平成 25 年度（2013 年度）比で 46%減らすことを指標とします。

指 標	基準年度 平成 25 年度 (2013 年度)	最新値 平成 29 年度 (2017 年度)	目標 令和 12 年度 (2030 年度)
①温室効果ガス排出量	1,786 千 t-CO ₂	1,749 千 t-CO ₂	959 千 t-CO ₂ (2013 年度比 46%減)
化石燃料由来のエネルギーの使用量を抑制し、温室効果ガス排出量を減らします。			

※温室効果ガス排出量の算定方法の変更により、令和 7 年 3 月に数値を変更しました。

本編 P 5 5 「第 3 章 2. 計画の体系（2）目的・状態・指標のまとめ」

地球温暖化対策

- 目的 地球温暖化を緩和させるため
- 状態 二酸化炭素などの温室効果ガス※の排出量が少ない社会構造であること
- 指標

指標	基準年度 平成 25 年度 (2013 年度)	最新値 平成 29 年度 (2017 年度)	目標 令和 12 年度 (2030 年度)
①温室効果ガス排出量	1,786 千 t-CO ₂	1,749 千 t-CO ₂	959 千 t-CO ₂